

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/22号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FRB議長 金利上げ打ち止め示唆

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週は少し流れが変わってきました。まず米国の債務上限問題に対して、ホワイトハウスと共和党の双方がその姿勢を明らかに合意に向けて改め始めたということです。まだまだ双方の間には隔たりがあるとしながらも、債務不履行はお互いの選択肢にはないとはっきりと述べ、マーケットには楽観的な見通しが広がりました。それにより、ドル買い、株買い、の債券売り（金利は上昇）の流れとなり、ゴールドはこれまでこの債務上限問題で、売りたくても売り控えていた向きが売りに動き、これまで支えられていた2000ドルを割り込み、それが損切り売りをも誘発することになり、ゴールドは1952ドルまで下げました。しかし週末金曜日、パウエル議長が講演で、「政策金利は企業や消費者の経済活動を制限するのに十分なレベルまで上昇した。ここまでくれば、経済指標をより慎重に注視し、今後の経済の行方を慎重に予想する必要がある。」と述べたことから、マーケットはFRBが金利を上げ始めた2022年3月から初めて、金利上げを見送る可能性があるとの示唆を受け取りました。それでゴールドは1950ドル台から1980ドル手前まで急騰して一週間が終わりました。こおパウエル議長発言により、6月のFOMCでの金利見通しも大きく変化、金利上げ無しという可能性が82.6%に跳ね上がりました。今週はまたこれでふたたび流れが変わる可能性が高いかもしれません。ゴールド下落の要因となっていた債務上限問題への楽観論は、週末もしくは月曜日にもなんらかの具体的な合意ができるというものでした。それが無さそうとなった今、またXデー6月1日までの合意が難しいという見方が浮上、そしてこの金利上げの終わりの流れは、ふたたびゴールドを2000ドル台へ上昇させるのに十分な材料でしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「LPPM London Pt Week」

先週、毎年恒例（毎年5月の第二週）に行われるロンドンプラチナウィークに行ってきました。パンデミックなどもあり、筆者自身が行くのも5年ぶりでした。このイベントは世界のプラチナ産業関係者がロンドンに一度の集まるというもので、London Platinum & Palladium Market (LPPM) という業界団体が毎年行っているものです。と言ってもLBMA (London Bullion Market Association) のPrecious Metals Conferenceのように一つの会場で二日間の会議という形式は取らず、関係各社が朝食、昼食、夕食の形でイベントを行い、取引先などを招待。LPPMのイベントは火曜日午後のセミナーと夕方のカクテルパーティーと水曜日のディナーになります。とにかく世界中から500~600人くらいの業界関係者が一度に集うので、プラチナに携わる企業にとっては最も効率のよい集まりと言ってよいでしょう。日本からの参加者も多く、おそらくLBMAのコンファレンスよりも、プラチナウィークに来る人間の方が多いのではないかと感じます。商社、鉱山会社、リサイクル会社、地金商など、さすがに大消費国ということでしょうか。今年はこの機会に発表する需給予想もプラチナは供給不足というものであり、今後のプラチナ価格の上昇を予想させる集まりでした。この季節はロンドンの一年でももっとも気持ちのよい天気の良い季節です。また来年も行きたいと思います。

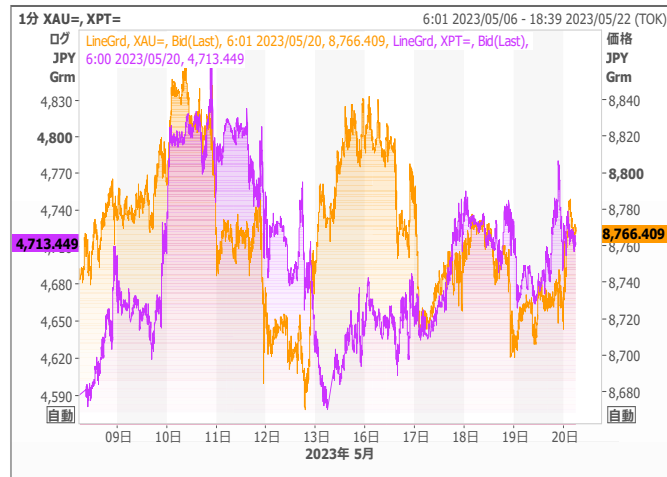
(ギルドホールでのカクテルパーティー)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

